

●9月は Cochabamba の月
14日は県、12日は市、23日は私たちの住む Tiquipaya 町のお祝いが続きました。
子供たちも制服で行進に参加し、そのあとお祝いの催しにも参加し満足して帰ってきました。

●三上敏子さん
彼女の存在はいつも楽しい。Capedis のみんなが彼女の周りにいたいようです。時々嫉妬してひねくれていたり、面白い現象あり。

宮地友美子様からレポート届きました！

現地ではみんな元気です！
7月下旬から9月上旬まで家族で CAPEDIS のあるコチャバンバに滞在しました。
コロナ明け、約3年ぶりに会う昭子さんが迎えにきてくれ、息子と大喜びで助手席へ。街中を通り過ぎ、ガタガタ道を通って、橋がない川を車で渡ると、みんなで耕している農園に到着です。入り口では、スタッフの家族が羊を捌いていました。捌かれる羊を横目に、青々と育った野菜たちが育つ畑を通り過ぎ、さらに奥には鶏、豚、クイの小屋があり、カマドでは家畜の餌となる野菜を煮ていました。
毎週木曜日にはコチャバンバ中心地にあるアンチャスマ(CAPEDIS に長年住んでいるマルガリータが店長でがんばっているカフェ)で育てた野菜を販売。私たちがいったときは、レタス、ほうれん草、ニラを販売していました。滞在先から農園までは距離があったため、数えるほどしか訪問



ニラを植える

あーかーしう
うんこーました



マルガリータ

できませんでしたが、息子を連れて毎日アンチャスマを訪問。この人気メニューはポリビア定番のシルパンチョ(薄く伸ばしたカツ定食)とミラネッサ(薄く伸ばしたカツのサンドイッチ)。息子はこのシルパンチョが大好きとなりました。
こちらの売り上げ向上のため私も何かできないか考え、マルガリータと新メニューを試行錯誤。農園で収穫されるニラでチヂミ、ポリビアで生産された醤油を使って唐揚げを一緒に作りました。

その後マルガリータたちも、以前日本から来たボランティアの方が持ってきた「鯛焼き器」を使って、チーズ鯛焼きを販売できないか試食作り。近所の知り合いの方に味見をしてもらったところ「美味しい！販売されたら買いに行くわ！」と言って頂きました。どうにか収入につながるいいですが…。
CAPEDIS では、広い敷地の一部にパン屋さんを建設中(今頃できてるかな)。人気のパン屋さんになるといいなと思います。
経済的には大変な CAPEDIS ですが、相変わらず、昭子さんとスタッフ、子どもたちの大きな声が響き渡っていました。



クイの小屋

ELPIS

エルピス会便り

11月はじめまでの季節外れな暑さも過ぎ去り、寒さ厳しくなってきましたが、皆様お変わりありませんか？

ポリビア「聖マルティンの家」ではパン工場の準備や豚の飼育と、新しい仕事にも取り組み、頑張っているようです。

又、今年も二人の方が七月から十月にかけて「聖マルティンの家」を訪ね、手伝って下さいました。感謝！！です。25年を経てもこのように日本からの支援…カペディスの皆はどんなに心強い思いと頑張る力を出せるでしょう。

その感謝の想いを伝えてほしいと、早々にクリスマスカードを作ってくれ、札幌の支援者の方が預かってきてくれました。どうぞお受け取り下さい。
年末年始が、心豊かにお元気で過ごせますように、と、御挨拶申し上げます。

2023年12月吉日 エルピス会 俵 靖子



2023年6月8日着信(昭子さんよりメール)

5月14日、バザーの日はみんなそれぞれの持ち場で出来る手伝いをしてくれ、みんなの一致協力です。前年より早くメニューが売り切れ、片付けもあっという間に終わり疲れもいつもより少なかったかな？ただ純利益は今まで一番少ないものとなった残念な結果でした。去年はコロナ中でしたがそれでも多少の利益を上げました。世界中が不景気な中、どうしようもありませんね。それでも協力して下さった多くの方々に感謝し、無事4月分の給料支払いを終えました。



バザーの前に EMILIO さんは5日間休暇を取って、田舎の両親の広い畑のジャガイモの収穫の手伝いをしてきました。本当に広いですね。その収穫の中からバザーの為に50キロのジャガイモの寄付を頂きました。

